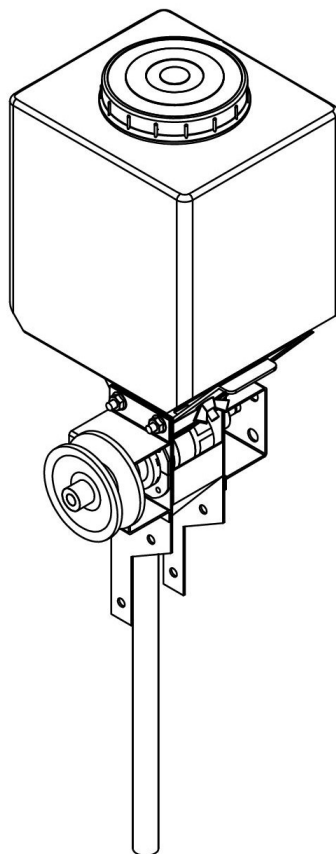


取扱説明書

トラクタ用真空播種機 KD2 シリーズ用 播種同時薬剤散布機 KM20



安全のために


この製品を安全に、また正しくお使いいただくために、必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こす可能性があります。
お読みになった後も、必ず製品の近くに保管してください。

KEIBUN

KM20 を お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、KM20 の取扱い方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取り扱い頂き最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとは必ず製品の近くに保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または販売店・JA にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げまたはお近くの販売店・JA にご相談ください。

 印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目につき必ずお守りください。



警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるもの。



注意

その注意文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。
- 播種と同時に殺虫剤を散布する害虫駆除方法については、最寄りの農業改良普及所など農業指導機関、或いは販売店・JA などにご相談の上、薬害や残留農薬等の問題が発生しない様に十分注意をして作業を実施してください。
- この薬剤散布装置は、散布用粒状薬剤を散布するもので、粉状の薬剤には適しません。

目 次

安全に作業するために	1
本製品の使用目的について	2
サービスと保証について	2
仕様について	3
各部のなまえ	3
組立要領	4~5
散布量の調節	6~7
散布量について	8
散布作業について	9
作業が終わったら	9
部品表	10~11

安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと、
死亡を含む障害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。



警告

播種機及び本機の取扱説明書をよく読む。

- 使用前に取扱説明書をよく読んで安全で正しい作業をしてください。

【守らないと】

傷害事故や機械の破損を引き起こすおそれがあります。



警告

薬剤の取り扱いには十分に注意する。

- 使用する薬剤のラベルをよく読み、使用方法、使用上の注意を守ってください。
 相当散布量や薬剤の種類をまちがえると、薬害をおこします。
- 使用済みの薬剤の袋は害のないように適切に処理してください。
- 風向きによって作業や住宅等に影響が出ないように注意してください。
 また、周辺の他作物、畜舎、養魚池、住宅に漂流飛散させないように配慮してください。
- 薬剤タンクや散布装置に残った薬剤は、きれいに除去し、元の容器または、袋に入れてください
- 薬剤を使用の際はの薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業服等を着用してください。
- 粉末を吸い込まないように注意してください。
- 薬剤の取り扱いには十分注意し、万一目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。
 体調に異常を感じたら直ちに医師の診断を受けてください。
- 作業終了後は手足、顔などを石鹸で良く洗い、うがいをするとともに洗眼してください。



警告

子供を近づけない。

- 子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

思わぬ事故の原因になります。



警告

機械を他人に貸すときは、取り扱い方法をよく説明し
使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導する。

【守らないと】

重大な障害、機械の破損をまねくおそれがあります。

本製品の使用目的について

本製品は、粒状薬剤を散布する機器です。

使用目的以外の作業や改造などは決して行なわないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

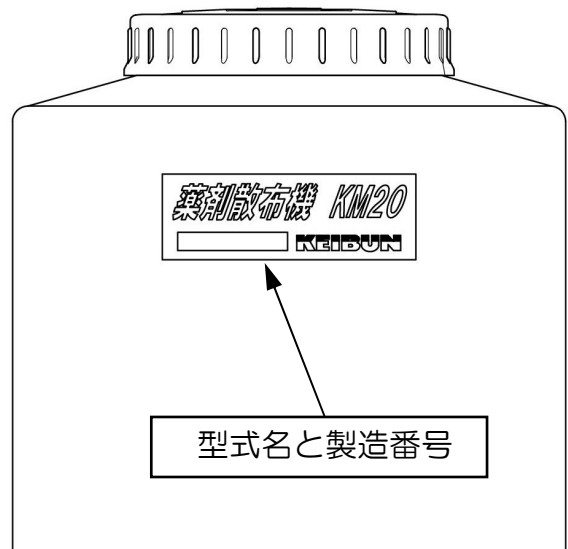
サービスと保証について

アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店、JA までご連絡ください。

＜連絡していただきたい内容＞

- 型式名と製造番号
- ご使用状況は？
（どんな作業をしていたときに）
- どのくらい使用されましたか？
（約□□箱または約□□時間使用后）
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。



補修部品の供給年度について

弊社製品に対する修理部品の供給は生産終了後9年となります。

それ以降につきましては、製品の修理部品の対応ができない場合がございますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

なお、9年たった製品につきましても、在庫や生産の状況により、対応できる場合もございますので、お気軽にご相談ください。

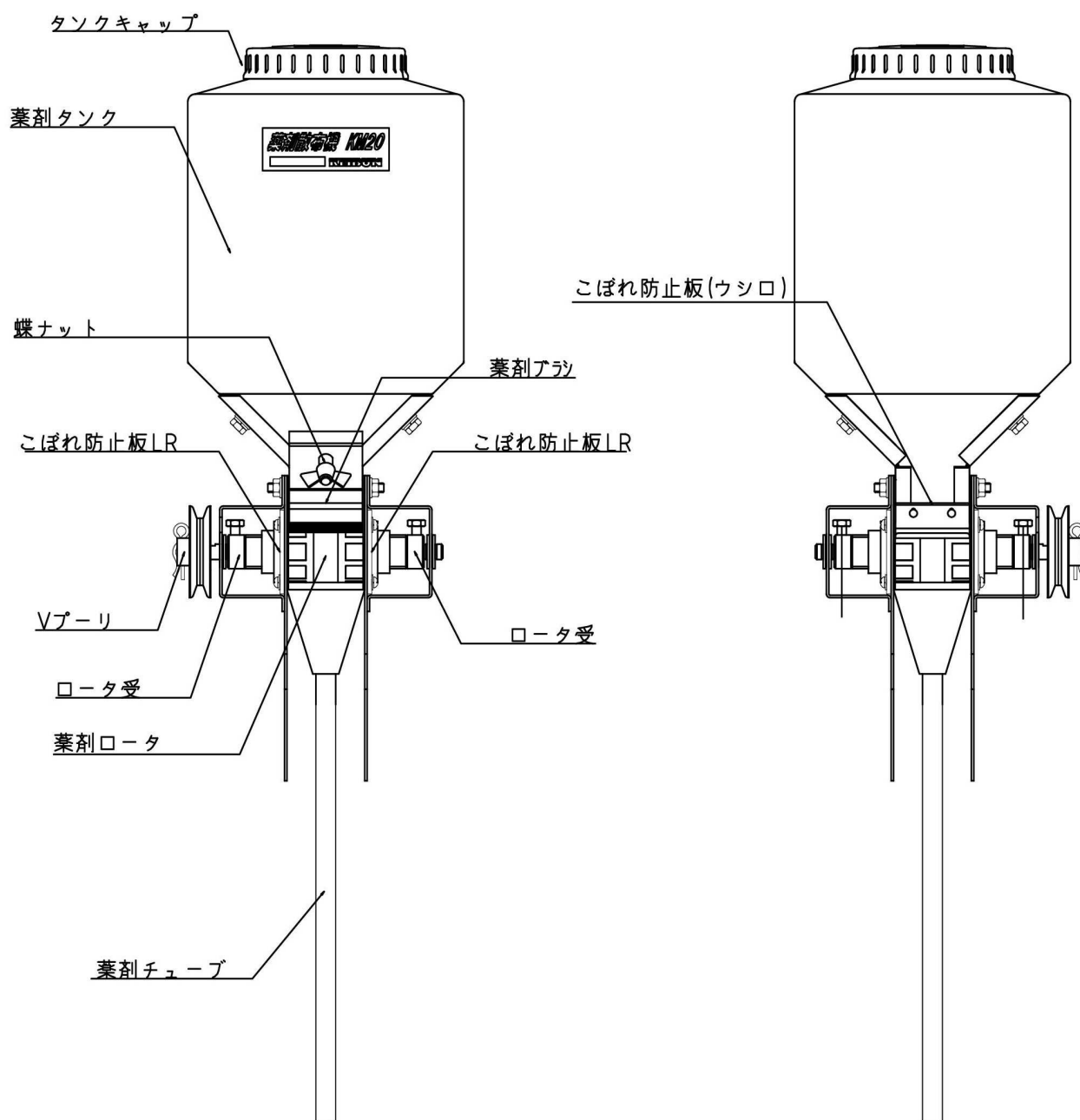
仕様

型式	KM-20
散布量	散布量の調節は P6~P8 を参照してください。
薬剤繰り出し方式	ロール溝調整式 (1~8 段階)
タンク容量	5.7ℓ
適応薬剤	粒状薬剤 (散布用)

各部のなまえ

【 表面 】

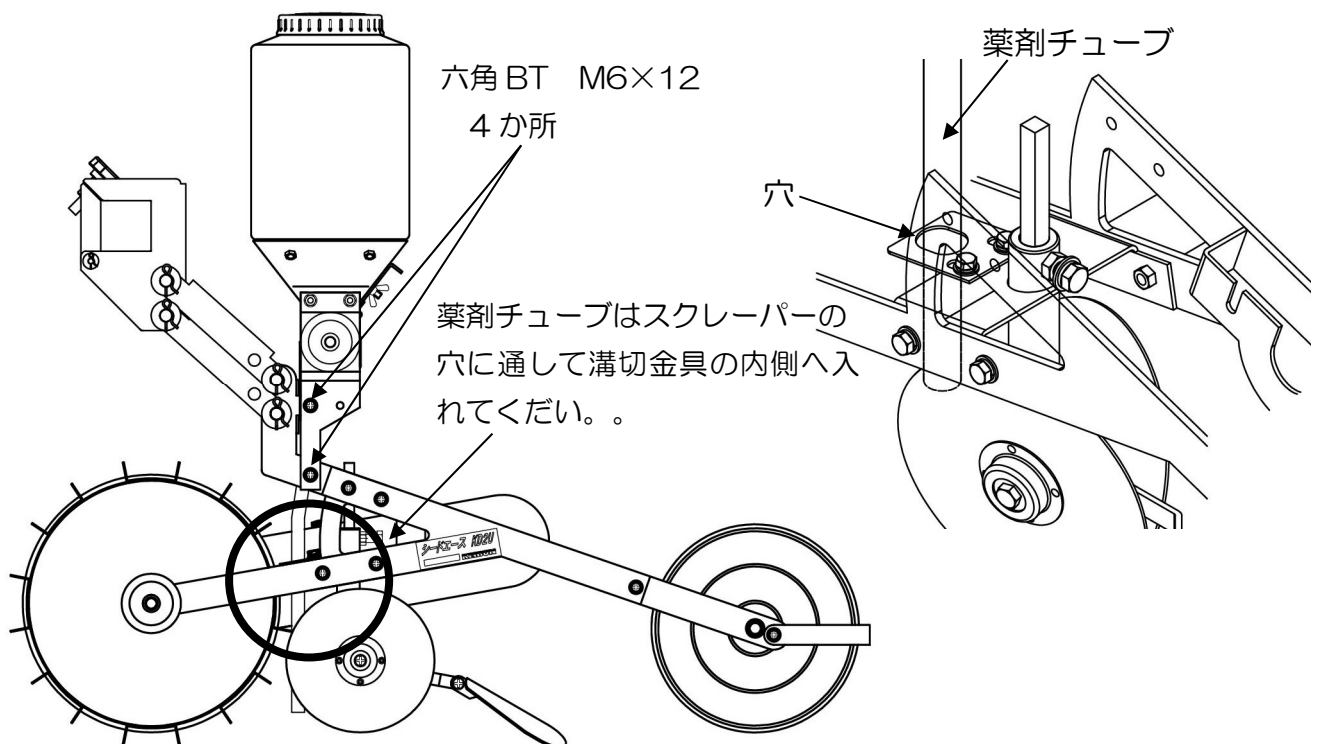
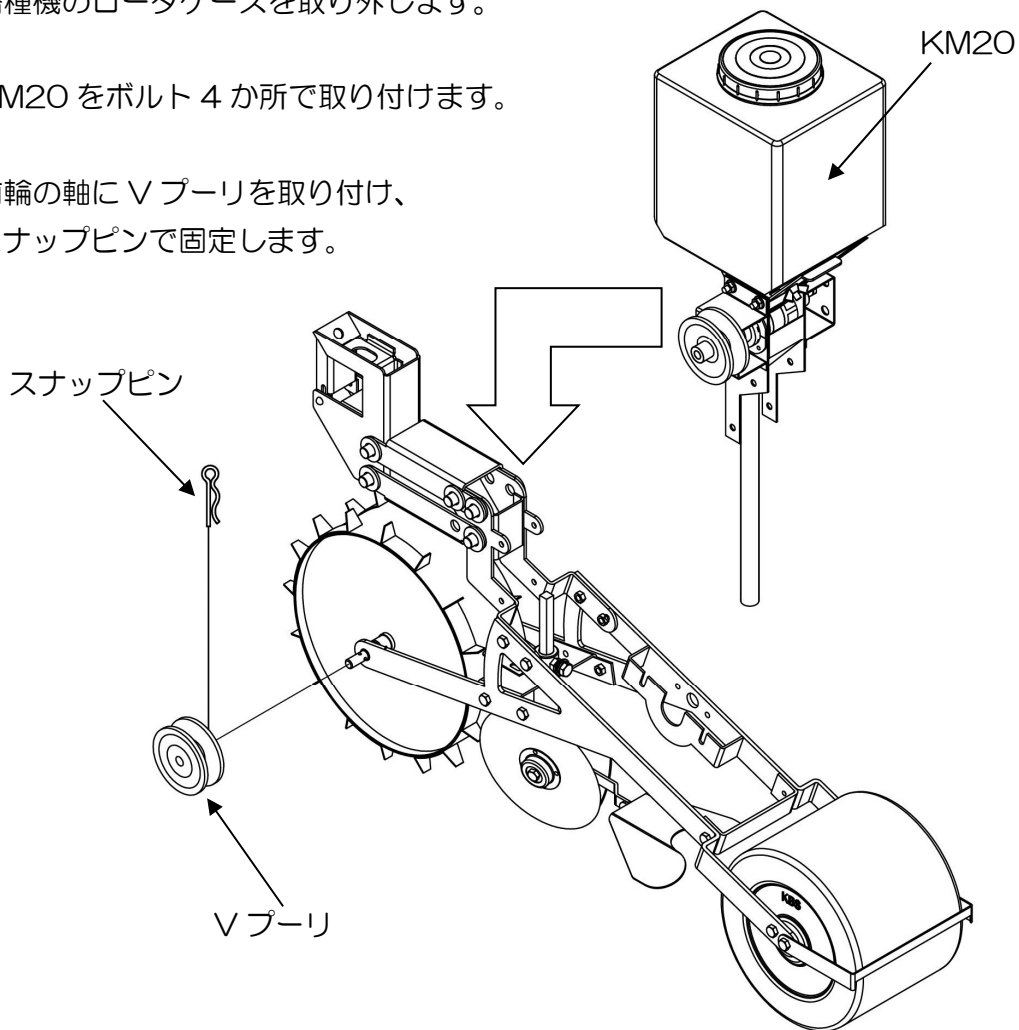
【 裏面 】



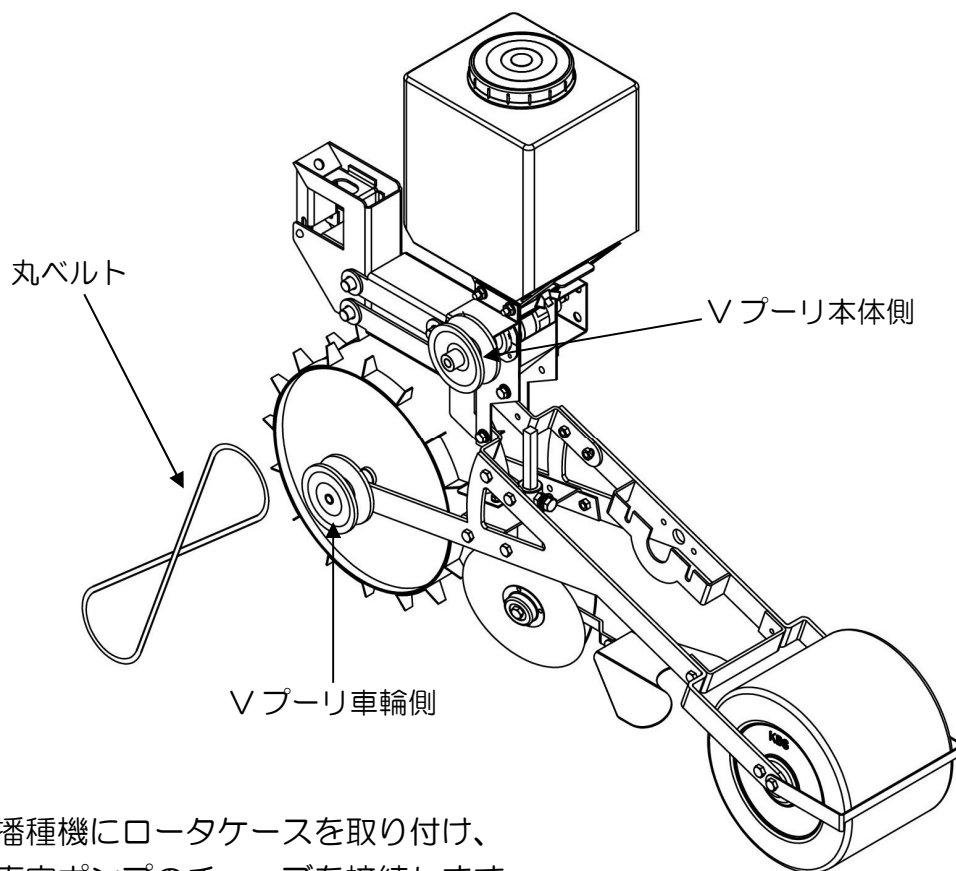
組付要領

播種機への取り付け

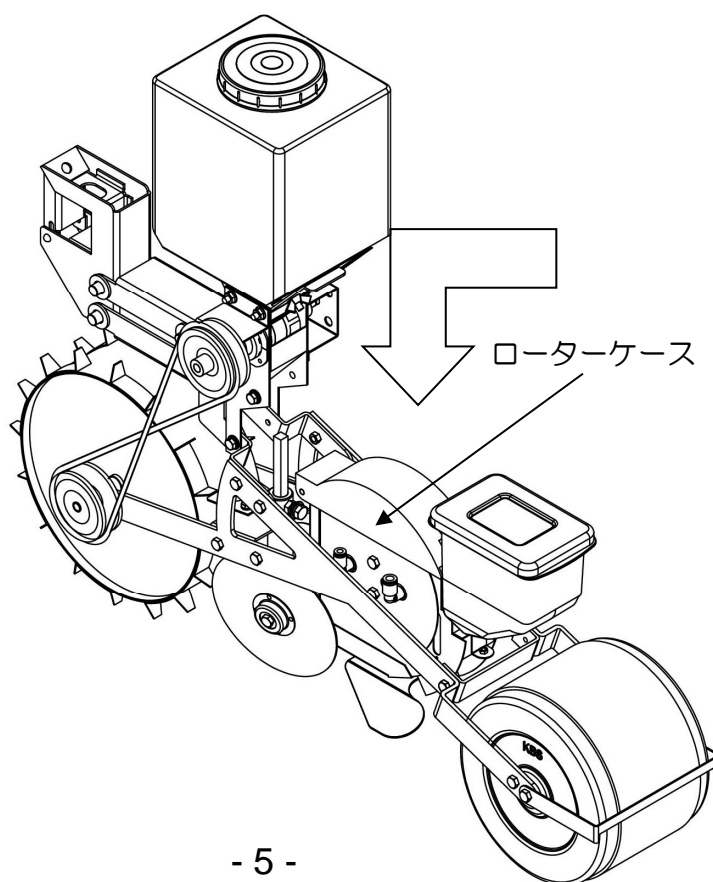
- ① 播種機のロータケースを取り外します。
- ② KM20 をボルト 4 か所で取り付けます。
- ③ 前輪の軸に V プーリを取り付け、スナップピンで固定します。



- ④ Vプーリに丸ベルトを取り付けます。
ベルトは8の字に取り付けます。薬剤ロータは進行方向とは逆方向に回ります。



- ⑤ 播種機にロータケースを取り付け、
真空ポンプのチューブを接続します。



散布量の調節

※薬剤投入時は薬剤ブラシを薬剤ロータに密着させた状態で行ってください。

※本製品は薬剤ロータの溝の隙間を調節して薬剤排出量を増減します。

左右それぞれ 1～4 段階調節でき、左右の組合せで 1～8 段階の調節が出来ます。

排出量を 4 以上にする場合は、左右の隙間調節は出来るだけ均等に行ってください。

例)

排出量 1 にする場合。 ○左右どちらか「目盛 1」

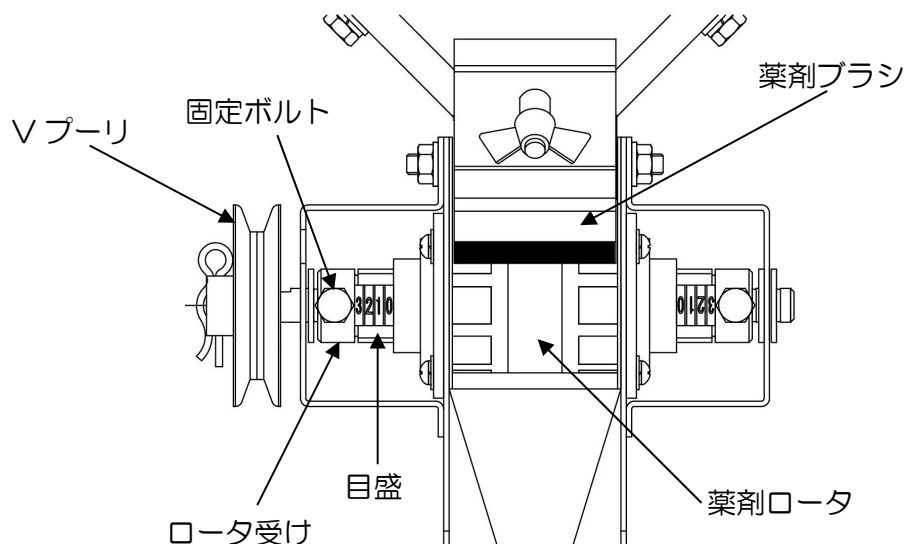
排出量 3 にする場合。 ○左右どちらか「目盛 2」 反対側は「目盛 1」

排出量 4 にする場合。 ○左「目盛 2」 右「目盛 2」 △左「最大」 右「目盛 0」

※目盛は「0」～「3」までです。ロータがロータ受けに当たるまで最大に広げた位置が「4」になります。

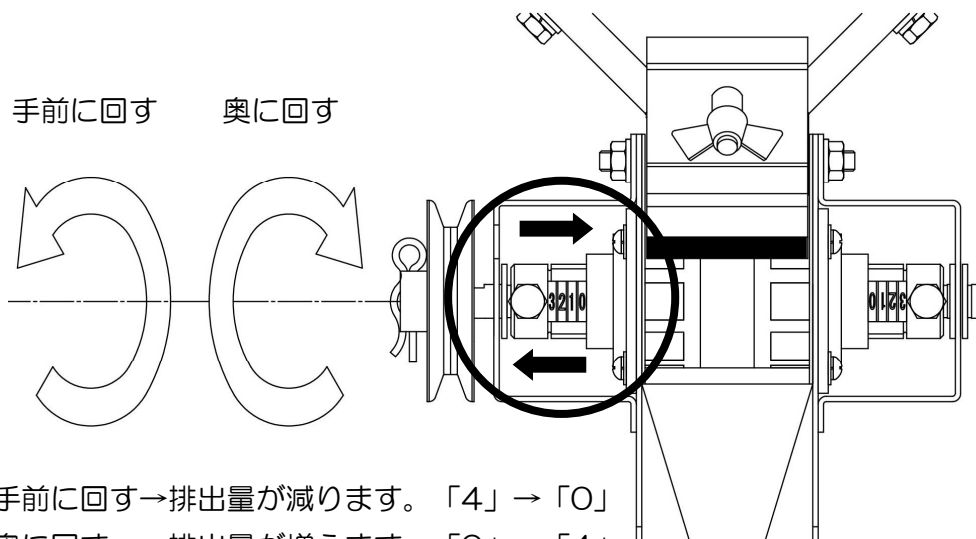
調節の仕方（左側の場合）

- ① Vプーリから丸ベルトを取り外します。
- ② ロータ受けを固定してある固定ボルトをゆるめます。



- ③ 目盛の面を正面に見てロータ受けを回転しないように固定します。

※ゆるめたボルトをドライバー等で押さえ付けてください。



Vプーリを手前に回す→排出量が減ります。「4」→「0」

Vプーリを奥に回す →排出量が増えます。「0」→「4」

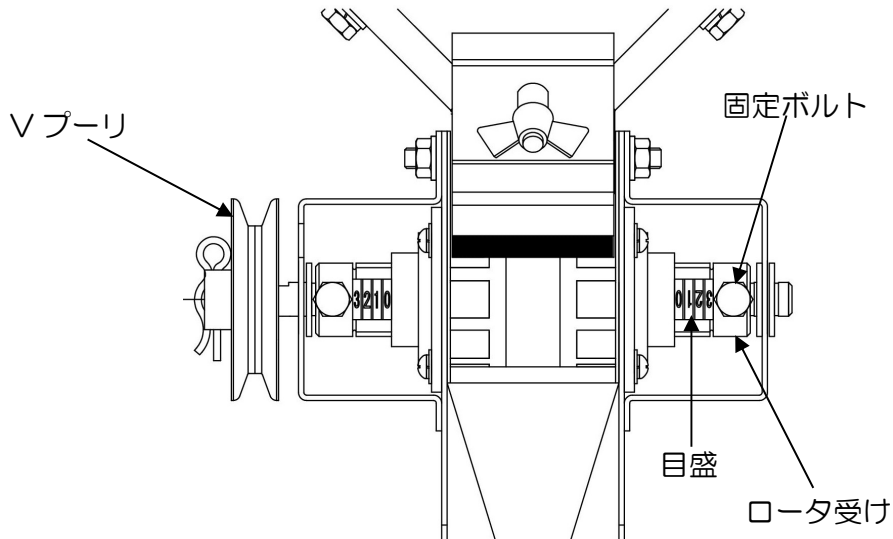
④ ご希望の目盛りに調節し、固定ボルトを締めてロータ受けを固定します。

散布量の調節

調整の仕方（右側の場合）

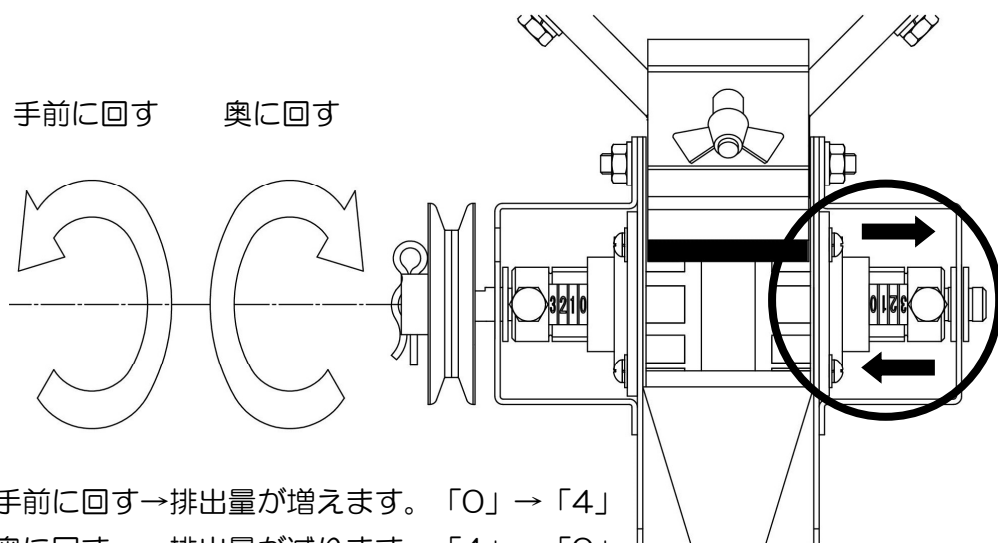
※左右でVプーリを回したときの増減方向が逆になるので注意してください。

- ① Vプーリから丸ベルトを取り外します。
- ② ロータ受けを固定してある固定ボルトをゆるめます。



③ 目盛の面を正面に見てロータ受けを回転しないように固定します。

※ゆるめたボルトをドライバー等で押さえ付けてください。



Vプーリを手前に回す→排出量が増えます。「0」→「4」

Vプーリを奥に回す →排出量が減ります。「4」→「0」

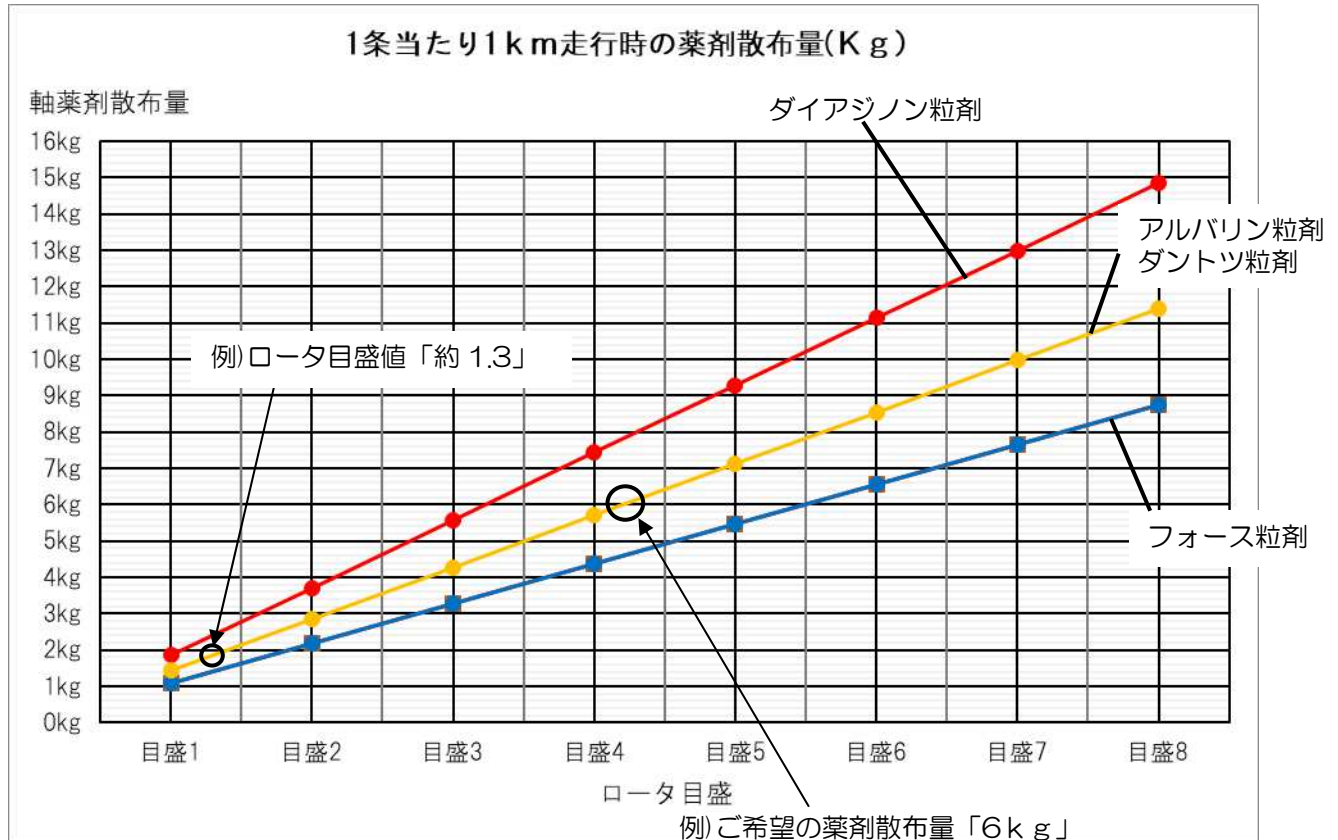
④ ご希望の目盛りに調節し、固定ボルトを締めてロータ受けを固定します。

散布量について

薬剤散布量は作物により異なります。薬剤の取扱説明要領をよく読み、適切な散布量でご使用ください。

薬剤の種類、薬剤の状態、播種速度により繰り出し量が変わります。

繰り出し量の計算方法と代表的な薬剤の繰り出し量を下記に掲載しますので参考にしてください。



●1 アール 1 条当たりの散布量の計算

上記の表を参考に播種する条数に合わせて計算してください。

a. ご希望の薬剤散布量 (kg) ÷ 条数

b. 散布面積 (㎡) = 条数 × 条間(m)

1 条当たりの散布量 = a × b

例) アルバリン・ダントツ粒剤 4条で条間0.3m(30cm) 1アール当たり6kg散布したい場合

a. ご希望の薬剤散布量「6kg」÷条数「4条」=1.5kg

b. 散布面積=「条数4条」×「条間0.3m」=1.2㎡

1 条当たりの散布量 = 「1.5kg」×「1.2㎡」 = 1.8kg

と。1 条当たりの薬剤散布量は 1.8kg となります。

表のアルバリン・ダントツ粒剤の 1.8kg 散布時の目盛りを読んでください。

「約 1.3」となります。4条それぞれの薬剤ロータの目盛を「約 1.3」に調節してください。

播種（薬剤散布）作業について

始業前の点検

- ① 各部のボルト、ナットの緩み、脱落が無いことを確認してください。
- ② 薬剤タンクの中に残留薬剤が無いことを確認してください。

薬剤投入について

薬剤投入は薬剤ブラシを薬剤ロータに密着させた状態で行ってください。

散布作業について

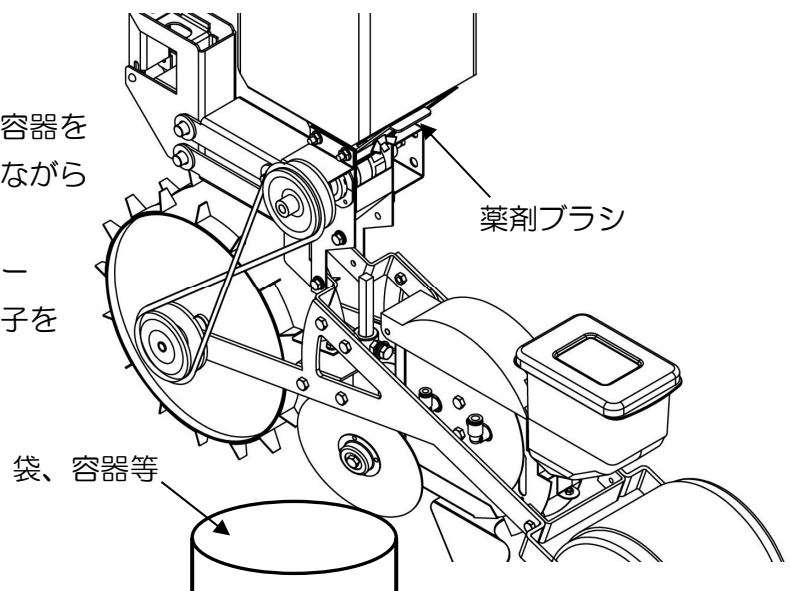
薬剤の散布量は薬剤の取扱説明をよく読み、適正な散布を実施してください。

作業が終わったら

薬剤の排出方法

チューブの下に薬剤を受ける袋、または容器を設置し、薬剤ブラシを少しずつ上にあげながら薬剤を排出させてください。

※大量に薬剤を排出するとオーバーフローする可能性がありますので少しずつ様子を見ながら排出量を調整してください。



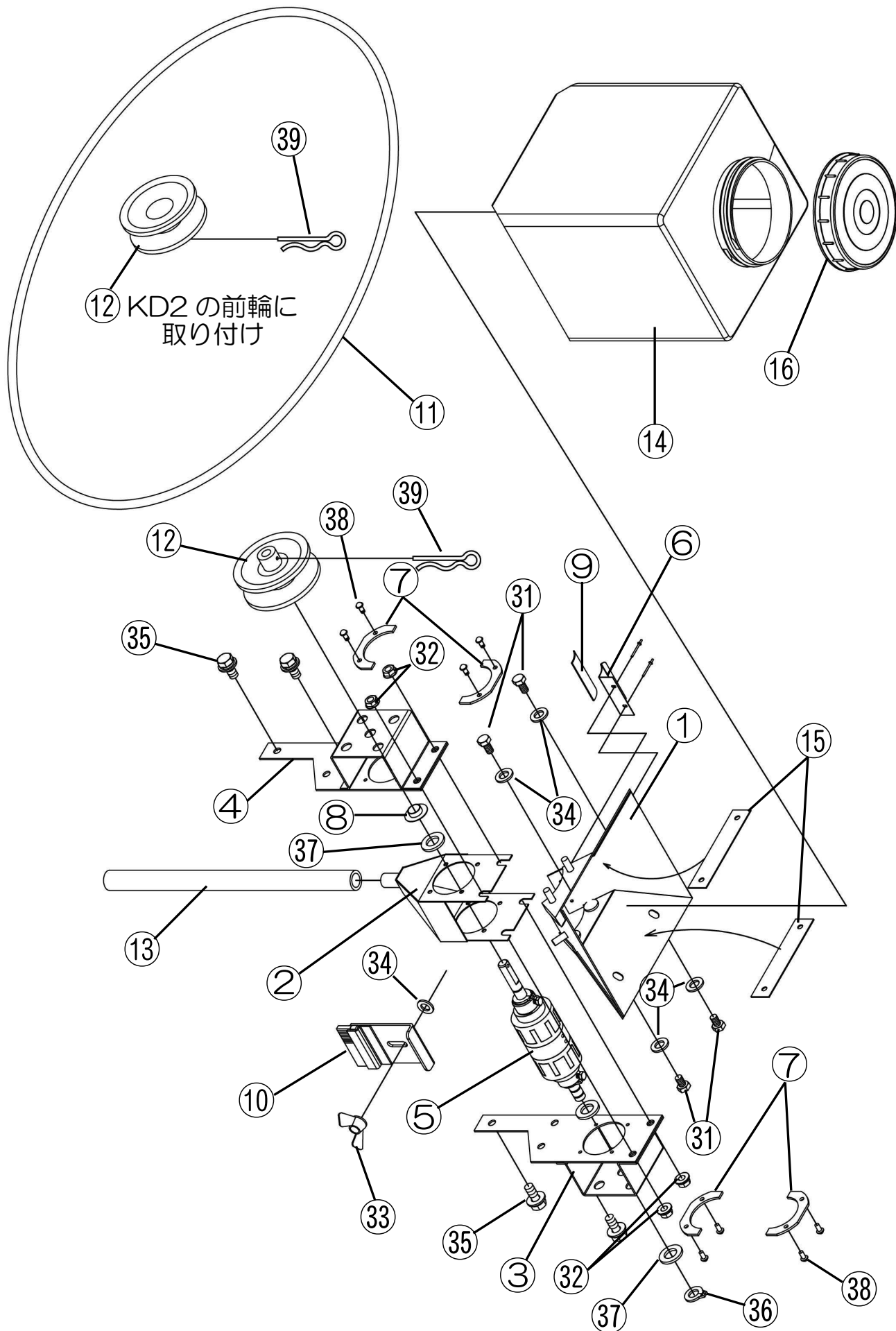
作業後のお手入れ

- ① 薬剤タンクの中に残留薬剤が無いことを確認してください。
- ② 薬剤ロータの溝に薬剤が付着している場合はブラシ等を使用して取り除いてください。
- ③ 各部のボルト、ナットの緩み、脱落が無いことを確認してください。
- ④ 軸部の油が切れているようであれば注油してください。

長時間使用しないとき

- ① シーズン終了時は必ず薬剤を抜き取り、各部に付着したゴミや薬剤を清掃してください。また、清掃後はよく水気を拭き取り、軸部に注油してください。
- ② 丸ベルトはプーリから取り外し清掃したのち、別途保管してください。
※丸ベルトを取り付けたまま長期保管するとベルトに形が付いたり伸びる原因になります。
- ③ 高温多湿を避けて保管してください。

部品表



部品表

NO	部品コード	部品名	数量	備考
1	017541	薬剤シューター-SUS,KM20	1	
2	017543	ホッパウケ,KM20	1	
3	017545	スタンド L,KM20	1	
4	017547	スタンド R,KM20	1	
5	017569	ヤクサイローラ Assy	1	
6	017550	コホレホウシタ後,SUS	1	
7	017557	コホレホウシタ LR,KM20	4	
8	017598	フランジブッシュΦ10,KM20	1	
9	017599	スベリタ L48,KM20	8	
10	017558	ヤクサイブラシ Assy	1	
11	017559	ヤクサイベルト,KM20	1	
12	001713	V プーリ中	2	
13	014305	CM チューブ[12×15×180L]	1	
14	017588	ヤクサイホッパ Assy	1	
15	002170	ホッパ金具 SUS(板 NT)	2	
16	002164	タンクキャップ	1	
31	008042	六角 BT+M6×15SUS	4	
32	001987	フランジ NTM6	4	
33	001310	蝶 NTM6(三価ホワイト)	1	
34	000527	平座金 φ6×13×1.0(SUS)	5	
35	001859	六角 BT+M6×12 3P	4	
36	008051	C リング Φ10 軸	1	
37	001849	平座金 Φ10×22×1.6	3	
38	020590	ナベコネジ+M3×10 3P	4	
39	001852	スナップピン Φ16	1	

製造元 株式会社 啓文社製作所

〒731-0523 広島県安芸高田市吉田町山手 739-6

TEL (0826)43-1201(代)

FAX (0826)43-1768

<http://keibuntech.com/>

購入日	年	月	日
購入店名			

部品コード 9001-7563-2

2024.01